

## 混合名簿が市議会に 出された!

9月16日 市議 堀江ひとみさんの

混合名簿についての質問を支援するため

ばってんうーまん達は市議会傍聴に出かけました。

(堀江さんの発言)

オレは混合名簿についてです。

従来「あたりまえ」と思われてきた社会通念や慣行での男女差別について、さまざまな場面で、女性たちが異議をとなえてきてくれています。学校の出席簿が男性が先になる事への疑問もその一つです。こうした疑問をいっしょに「オレいことだ」と認識している人々が少なくない中で、89年には堺市がすべての公立学校での男女混合名簿使用決定を行い、昨年から大阪府教育委員会も混合名簿を積極的に指導しています。今まで「あたりまえ」と思われていたことが、実は明確な男女差別だったのです。

男子が先、女子が後という名簿が、何故性差別なのか、それは、無意識のうちに男子優先を教えていることになり、女子は男子に従属するという意識を植え付けているからです。もちろん男女平等の観念に反します。では、女子が先だほうがいいのかというふうな問題ではなく、男女の性別にとらわれず、一人の人間として、対等な関係を作っていくべきかという事なんです。

県教育委員会のお話は、出席簿の実務的な指針となる処務規則(案)は、あくまでも見本であり、強制力はない。各市長村で検討していただくべき、と言うことでした。そうであるならば、市教育委員会の男女平等の感覚が問われる問題と言っても言い過ぎではありません。

① 従来の名簿を性差別と認識されているかどうか。

② 前回の同僚議員の質問に「男女平等教育推進の検討をお願いしたい」と答えているが、その後の取組について。

堀江さんの発言がはじると同時に、保守系議員の私語が目立つ。

「何してるのさ!」のドナリ声 (意味不明)

「オレいことだ!」のドナリ声より、しゃべりが一段と大きくなる。

「何が不平等か!」

「差別じゃないのさーもん」  
と大げげに叫ぶ

おらん、保守系議員席から。



③ 混合名簿を実施する考えが ありかどうか。おはね教します。

「そんな 混合名簿を作れ！」という大声のヤジが 民社党の議員席からあがり、  
会場を ああう ぐらぐら 笑い。

教育長：市教育委員会の定めた出席簿は、男女別々になっている。正確な事務処理のためであり、差別ではない。と思っている。しかしこの事に起因して差別がある事は 受けねばならぬ。換算中に充分、男女差別をいかに教育をすればいい。と思っている。今、混合名簿を実施しているのは、少数の自治体である上に、文部省より具体的な指示がない。関心を持って混合名簿を実施している自治体の見学などしているが、今後のあり方を見守りたい。

堀江さん：「必要性において男女別の名簿にする」とおっしゃいましたが、それは「慣行ではない」という事ですね？

教育長：事務処理上の必要性で、慣行ではない。

堀江さん：生まれた時から、男性であるが故に優遇されつづけた男性に、この事が理解出来るかどうか。現場では、混合名簿でも何ら事務処理上、支障はない。といっている声がありますが、その意見を、お聞きになったのか？

教育長：出席簿の形式をもって差別との判断をした事はない。差別はあってもならない。それぞれの教科で、差別排除の教育をしている。

堀江さん：男平等教育の推進が漸次、受けられているのか御存知ですか。慣行そのものを見直し、というのが現在の国際世論です。

教育長：名簿だけを混合にしても、やはり男女別の補助名簿を作る事になる。

このあたりで、さんざん ヤジを飛ばした  
議員達は 居眠り！

統計上、性を分けて処理するシステムがあり、そのシステムを解消しない方がよいのだ。

堀江さん：そのシステムを見直す姿勢を持ってほしい。



答弁する側に着席している市の部課長34名は、おはね男性、というおかしな～。  
男だけで、女の問題に答えるとするのかしら？

「女性行政推進室長でもある市の女性センター・アライアンス」の所長は、どうしてこの場に居ないのか？ 居たらどうやって意見をのべるのか、聞きたかった。

「女性を管理職に」と言うとき、候補に上げて女性を辞退する、と答える。精神的に、いめられるから、辞退する、という今の現状だ。まず、女性管理職になる環境作りが大切だ。



議長は議員をおぼて「～君」とおんだ。「堀江ひとみ君」と。  
これは男性だけの市会議員だった時代の慣行。

以前女性議員全員から「～君」とおぼれるのは女性のみや、た。

全員を「～さん」と呼んで下し、と申し入れて、という話を聞いた。

その時のヤジは、

女が「～さん」と呼ばれる程、えくあ、たのぞ！

と保守系議員の席から あったそうぞ。

土井家院議長の「～さん」の影響から、今副議長は議長席についた時、女性議員に、何して「高瀬 あつさん」だぞ、そうぞ。

### 青鉛筆



▽「男女平等の男女混合名簿を採用し、等の教育は、学、怡土小も準備中。その一方で男女別名簿の学校もある」。十八り、実態はまちまち。

日、福岡県前原市議会で、社会党の男性議員が「先に名前を呼ばれる男性優先の考え方が大人社会にもある」と、学校教育の大切さを説いた。  
▽前原市内では前原小と加布里小の二校が五十音順で男女を記入する例もあるようだ。



新聞のコラムで

こんなうれしいニュースもみつけました。

ばてんらーまんは 今年

東京 Rape Crisis Center

強姦救援センター

に心ばかりのガンパ をしました。

ほとんどの数人の女性の手で10年前はじめてた電話相談が  
今、大きな力強い運動になっていて、とてもうれしいのです。  
やはり強い活動の大きな力を、しみみと感じます

そして左の スローガン にも又、

私達は心から失礼しています。

私たちは強姦を次のように定義します。

1. 強姦は、女性に対する支配、征服、所有  
が性行為という形をとった暴力です。
2. 強姦は、女性が望まない全ての性行為  
です。

長野県、高校で

こんな事があった。

オーストラリアから英語の先生として若い女性がやって来られた。県の教育委員  
会が生きた英語を教壇でとやめがけに招聘し、県下の公立高校を巡回してもらっている人です。

ある教室で最初の授業の後、みんなに「何でもいっかい質問して下さい」と彼女が言った所、  
男子生徒の1人が「先生のスリー・サイズを教えてください」。彼女はおどろき、たが、その生徒に  
「そんな質問をするのではない。みんなにそんな事を聞くのは大変失礼なのだ」と答えたそうです。

その後の職員会の歓迎会の席上、中年の男性教師が又「先生のスリー・サイズは？」とまき、  
さあがきすくかいて「日本の男性は、何を考えているの？ 日本はどうなっているの？」とみんな  
に何らで大事でと求めたそうです。

すると質問した男性教師だけでなく、「何であなたにおきかえのせよさうん」「いばっている」  
「あなたに4キになる程のことではない」と口々に「たががあなたにそんな事であなたに返さる事  
ではなさう〜」という話にならうそう。

しかしその後1人の教師が「みんなにスリー・サイズを聞くという事は、男の人『あなたの持ち物の  
サイズは？ 色は？』とよく事と同じ事なのだわう」というと男性一同「やっぱりそんな事聞か  
れたらイヤだ〜」という事にならうのだそう。